

第7章 アクセシビリティ

インターネットのアクセシビリティ

▶ 国内での活動は始まったばかり ◀

アクセシビリティの重要性

アクセシビリティ (accessibility: アクセス可能な) とは、高齢者や心身に障害を伴う人も含めて、誰もが同じように製品・システムサービスなどを利用できるようにしようという考え方である。パーソナル・コンピュータのアクセシビリティに関しては、MS-DOSが普及し始めた頃より以前から、障害者のコンピュータ利用を促進するための取り組みがなされてきた。これは、コンピュータを利用できることが、障害者の社会生活を向上させて行くうえで重要であることが、早くから認識されてきたからである。

たとえば、印刷媒体からの情報取得が困難な視覚障害者や放送媒体からの情報取得が困難な聴覚障害者にとって、電子的な形でやりとりされる情報もたらす情報量は計りしれない。また、移動に制約を受けているなどの理由でコミュニケーションが困難な肢体不自由者に対して、コンピュータは新たなコミュニケーションの手段を提供している。

インターネットの利用者が増加した今日、コンピュータやインターネット上で提供されている情報が、このような障害を持つ人々にも利用できることは、ますます大きな意味を持っている。

特に欧米においては、インターネットのアクセシビリティを保証していくことに対する関心が高く、アメリカではアメリカ障害者法・電気通信法やリハビリテーション法などの連邦法によって、インターネットのアクセシビリティを障害者に対して保証していくことが、多くの場合において義務付けられている。

WAIプロジェクトの始動

増え続けるインターネット上の情報のアクセシビリティに対する関心の増大を受けて、1997年4月、World Wide Web Consortium (W3C) ^注 はWAI (Web Accessibility Initiative) というプロジェクトを開始し、WWWのアクセシビリティを向上させるための活動を行っている。WAIの主な活動内容は、W3Cが策定するWWWに関する仕様をアクセシビリティに配慮したものにする、WWWのアクセシビリティを向上し保

図1 WAI (Web Accessibility Initiative) のホームページ
<http://www.w3.org/WAI/>

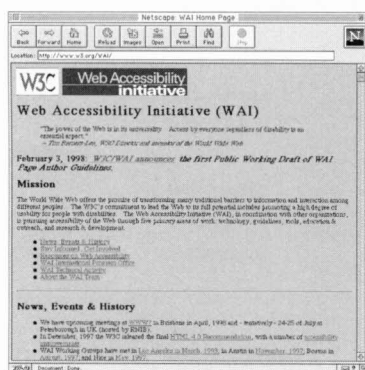


図2 パラリンピックでの公式サイトではアクセシビリティを向上させるための試みが行われた
<http://www.nagano.paralympic.org/>



証するために必要なウェブページ作成・ブラウザおよびオーサリングツール開発のためのガイドラインの作成、アクセシビリティの必要性の啓蒙などが含まれる。WAIの活動において注目すべき点は、W3Cの作成する仕様に関する議論に多くの障害者やそのサポートを行っている人々、さらにはアクセシビリティに関する研究を行っている専門家なども参加している点である。これまでは、彼らが発言する機会が少なく中で仕様の作成が行われてきたため、仕様が確定した後にアクセシビリティに関する問題点が指摘されるような場合も多かったわけだが、障害者も仕様策定に参加することによって、はじめからアクセシビリティが考慮されたものを作ることができるようになった。

国内でのアクセシビリティに関する動向

このような欧米の動きを受けて、日本国内でもアクセシビリティに対する関心は高まってきている。1998年3月に行われた長野パラリンピック冬季競技大会において、WIDEプロジェクトが日本IBMに協力して、パラリンピック・ウェブサイトのアクセシビリティを向上させるための試みを行ったことなどは、関心の高まりを示していると言える。しかし、現実にウェブサイトの運用を行っていたグループのアクセシビリティに対する意識と、障害を持つ利用者が求めるものとのギャップが大きく、現段階で完全にアクセシブルなウェブサイトを運用するためには、越えなければならないハードルがいまだ多く存在することを明らかにするに過ぎない結果となった。

日本国内においても、アクセシビリティに関する取り組みを行ってきた団体や研究者は多い。今後、これらの人々の努力を結集し、社会のアクセシビリティに対する関心やその重要性に対する認識を高めていくことが必要である。

(中根雅史・慶應義塾大学)

注 1994年に設立されたWWWのためのブラウザやサーバーに関する技術の標準化を推進する団体。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp